

『JSPS 課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業 JPJS001 19217881 における』

イギリスとの国際ワークショップ

新たな価値を創造する文化遺産活用の国際共同研究

ユーザー関与度進化、地域づくりの視点

ワークショップ開催の趣旨：

新型コロナウイルス感染症のため国内外の出張が難しく、また観光の動きが止まっており観光客への調査の実施が困難な中、可能な範囲で研究活動を進めている。国際的活動として、オンラインでのワークショップを開催したい。

前回9月に開いたイタリアとの国際ワークショップでは、双方の報告と活発な議論があり、国際的な視点から研究の中間成果を見ることができて大変有意義であった。今回は、イギリスという、観光と文化政策との連携が高度に発達している国の視線で、我々のチームの成果の中間報告を見てもらい、議論の機会とする。

日時：2022年3月7日（月）18:00-20:00 オンライン（非公開）

使用言語：日英（同時通訳あり）。発表者はいずれの言語を選んでもかまわないが、スライドは英語で用意し、1週間前には、発表内容その他の情報を通訳会社に送ることが必要。

参加者：本プロジェクトメンバー、

ロンドンのキングスカレッジ 准教授 Hye-Kyung Lee 先生  
講師 Anna Woodham 先生  
博士課程在籍中 照井敬生氏

プログラム：（発表・議論合わせて一人あたり35分）

18:00-18:10 開催の挨拶、趣旨説明（同志社大学経済学部教授 河島伸子先生）

18:10-18:45 発表1 Lost in Translation: Examining the Narratives of the Japan Heritage scheme（ロンドン、キングスカレッジ 博士課程在籍中照井敬生氏）

18:45-19:20 発表2 Heritage Policy of Japan—Belated Emergence of Instrumentalism in Recent Years（同志社大学経済学部教授 河島伸子先生）

19:20-19:55 発表3 Changing Features of Cultural Tourism in Japan—From Surveys of Cultural Tourists in Japan（同志社大学経済学部教授 八木匡先生）

19:55-20:00 閉会